

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年10月11日
【四半期会計期間】	第49期第2四半期（自平成24年6月1日至平成24年8月31日）
【会社名】	株式会社リンガーハット
【英訳名】	RINGER HUT CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役会長兼社長 米瀨 和英
【本店の所在の場所】	長崎県長崎市鍛冶屋町6番50号 （同所は登記上の本店所在地で実際の業務は下記で行っております。） 東京都品川区大崎一丁目6番1号 （03）5763-9100
【電話番号】	
【事務連絡者氏名】	取締役 管理グループ統括 佐々野 諸延
【最寄りの連絡場所】	東京都品川区大崎一丁目6番1号
【電話番号】	（03）5763-9100
【事務連絡者氏名】	取締役 管理グループ統括 佐々野 諸延
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 証券会員制法人福岡証券取引所 （福岡県福岡市中央区天神二丁目14番2号） 株式会社リンガーハット本社 （東京都品川区大崎一丁目6番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第48期 第2四半期連結 累計期間	第49期 第2四半期連結 累計期間	第48期
会計期間	自平成23年 3月1日 至平成23年 8月31日	自平成24年 3月1日 至平成24年 8月31日	自平成23年 3月1日 至平成24年 2月29日
売上高(千円)	17,323,651	17,253,330	34,677,756
経常利益(千円)	522,546	330,241	1,199,503
四半期純利益又は四半期(当期) 純損失()(千円)	255,407	151,153	420,761
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	303,220	148,187	434,629
純資産額(千円)	10,049,179	9,845,105	9,807,376
総資産額(千円)	23,844,251	24,560,902	23,698,167
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期(当期)純損失 金額()(円)	11.57	6.85	19.07
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	42.1	40.0	41.3
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	499,028	682,355	1,330,152
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	1,102,524	1,192,546	1,920,447
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	442,401	360,326	518,966
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	981,870	919,419	1,071,636

回次	第48期 第2四半期連結 会計期間	第49期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成23年 6月1日 至平成23年 8月31日	自平成24年 6月1日 至平成24年 8月31日
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額 () (円)	3.27	0.33

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には消費税等は含まれておりません。
3. 売上高にはその他の営業収入を含めております。
4. 第48期第2四半期連結累計期間及び第48期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、1株当たり四半期(当期)純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
5. 第49期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
6. 第48期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要などで緩やかに回復がみられるものの、長期化するデフレや円高の影響により、先行きは不透明な状況が続いております。

外食産業におきましても、市場規模に拡大が見られない状況の中、同業他社や「中食」との競争は激化し、引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは「創業50周年を迎え、更なる企業体質の強化を目指そう」をスローガンに、グループ店舗のQSC(Q=クオリティ・S=サービス・C=クリンリネス)の向上を図りつつ、コスト削減を実施し、減収であっても増益となる企業体質づくりを目指してまいりました。

店舗の出店及び閉店につきましては、当第2四半期連結累計期間中に「長崎ちゃんぼんリンガーハット」を国内23店舗、海外4店舗の計27店舗を出店、5店舗を閉店し、平成24年8月末の店舗数は国内610店舗、海外7店舗の当社グループ合計617店舗となりました。(内直営467店舗、FC150店舗)

既存店の状況は、当第2四半期連結累計期間の既存店売上高前年比は97.3%となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高17,253百万円(前年同期比0.4%減)、営業利益396百万円(同32.0%減)、経常利益330百万円(同36.8%減)、四半期純利益151百万円(前年同期は四半期純損失255百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(長崎ちゃんぼん事業)

「長崎ちゃんぼんリンガーハット」では、材料高騰や使用食材の高品質化に対応するため昨年実施した価格改定により客単価は上昇いたしました。客数減少の傾向が続いてまいりました。

また、低価格帯の外食店やファストフード店に加えコンビニエンスストアとの競争状況に対応するため、冷やしつけ麺(税込390円)などの低価格メニューを充実させるとともに店舗立地タイプ別に様々な営業施策を講じ業績向上に努めてまいりました。

ロードサイド店舗では、ドライブスルー併設を進め、平成24年8月末で導入店舗は134店舗になりました。ビルイン店舗では、駅前立地店舗に居酒屋メニューを展開しており実施店舗は22店舗となっております。ショッピングセンター内のフードコート店舗では、マンゴーをたっぷり使ったかき氷などデザートメニューを充実するとともに、ピークタイムの提供時間短縮を目的としたPOSレジを2台使用する新オペレーション確立に取り組んでおります。

しかしながら、前述した価格改定の影響、50周年記念メニューや創業祭イベントの販売不調、低価格指向への対応の遅れなどにより当第2四半期連結累計期間の既存店の対前年比は売上高95.9%、客数92.1%、客単価104.1%となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高12,743百万円(前年同期比1.1%減)、営業利益199百万円(同56.7%減)となりました。

(とんかつ事業)

「とんかつ浜勝(はまかつ)」では、専門店としての原点に戻り、お客さま満足度向上のため、品質・サービスに磨きをかけるとともに、消費者の低価格志向に対応するためにメニュー戦略を見直しお手頃な新ランチメニュー(税込690円)の販売による新規来店客数の増加を図るとともに、モバイル会員限定のクーポン配信や7月に実施した創業祭企画によるリピーター増加策など、販売施策を積極的に展開いたしました。また、店舗立地別の営業施策につきましても、ショッピングセンター内店舗メニューの開発、宅配メニューの充実などの売上高増加策を実施してまいりました。

「とんかつ浜勝」は、このように低価格指向に早めに対応できたことが奏功し、第2四半期の既存店対前年比は上昇し、平成24年6月～8月の対前年比は売上高104.6%、客数107.3%、客単価97.6%となり、当第2四半期連結累計期間の既存店の対前年比は売上高101.3%、客数101.3%、客単価100.0%となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高4,232百万円(前年同期比2.9%増)、営業利益106百万円(同231.9%増)となりました。

(和食事業)

和食事業の「長崎卓袱浜勝(ながさきしっぽくはまかつ)」につきましては、長崎の郷土料理である卓袱料理を観光客はもちろんのこと長崎の地元の方々にも楽しんでいただけるように上質のおもてなしとともにお手ごろな価格で提供しております。当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高94百万円(前年同期比3.2%減)、営業損失8百万円(前年同期は営業損失8百万円)となりました。

(設備メンテナンス事業)

設備メンテナンス事業の「リンガーハット開発株式会社」につきましては、当社グループ店舗の設備メンテナンスや機器保全が主な事業であり、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,058百万円(前年同期比8.8%減)、営業利益98百万円(同4.7%減)となりました。

(2) 財政状態

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ862百万円増加し24,560百万円となりました。これは主に、新規出店及び工場投資に伴う資産の取得及びショッピングセンター内の店舗の増加に伴う未収入金の増加によるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ825百万円増加し14,715百万円となりました。これは主に買掛金、未払費用及び長期借入金の増加によるものであります。

純資産は利益剰余金の増加により、前連結会計年度末に比べ37百万円増加し9,845百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ152百万円減少し、919百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ183百万円増加し、682百万円となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益の増加及び法人税等の支払額の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ90百万円増加し、1,192百万円となりました。これは主に、新規出店及び工場投資に伴う有形固定資産の取得による増加によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ82百万円減少し、360百万円となりました。これは主に、短期借入金の減少及び長期借入金の増加によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について、重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、80百万円であります。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	46,000,000
計	46,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年8月31日)	提出日現在発行数 (株) (平成24年10月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	22,067,972	22,067,972	東京証券取引所 (市場第一部) 福岡証券取引所	単元株式数 100株
計	22,067,972	22,067,972		

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (千株)	発行済株式総 数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年6月1日～ 平成24年8月31日	-	22,067	-	5,066,122	-	2,079,391

(6)【大株主の状況】

平成24年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
ヨネハマホールディングス有限会社	福岡市南区長住5-8-28	2,268	10.27
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口4)	東京都中央区晴海1-8-11	1,007	4.56
株式会社十八銀行	長崎県長崎市銅座町1-11	1,005	4.55
第一生命保険株式会社	東京都中央区晴海1-8-12晴海アイランドトリ トンスクエアオフィスタワーZ棟	629	2.85
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2-7-1	535	2.42
アサヒビール株式会社	東京都墨田区吾妻橋1-23-1	527	2.39
株式会社損害保険ジャパン	東京都新宿区西新宿1-26-1	436	1.97
株式会社福岡銀行	福岡市中央区天神2-13-1	348	1.57
麒麟麦酒株式会社	東京都中央区新川2-10-1	332	1.50
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1-8-11	226	1.02
計		7,317	33.15

(注) 上記日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4及び信託口)の所有株式数1,234千株は信託業務に係る株式数であります。

(7)【議決権の状況】
【発行済株式】

平成24年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 10,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 22,009,500	220,095	
単元未満株式	普通株式 48,472		一単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	22,067,972		
総株主の議決権		220,095	

(注)「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式44株が含まれております。

【自己株式等】

平成24年8月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社リンガーハット	長崎県長崎市鍛冶 屋町6番50号	10,000		10,000	0.04
計		10,000		10,000	0.04

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年6月1日から平成24年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年3月1日から平成24年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,081,636	919,419
売掛金	314,023	410,267
商品及び製品	87,327	108,105
仕掛品	17,579	527
原材料及び貯蔵品	275,961	328,583
前払費用	302,011	334,986
繰延税金資産	100,660	130,554
その他	424,559	596,828
流動資産合計	2,603,758	2,829,271
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,809,151	8,194,057
機械装置及び運搬具(純額)	674,104	809,861
土地	6,053,327	6,001,327
リース資産(純額)	315,619	281,805
建設仮勘定	47,275	242,265
その他(純額)	494,951	585,064
有形固定資産合計	15,394,429	16,114,381
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	526,547	477,363
差入保証金	915,475	1,033,410
建設協力金	420,468	357,722
敷金	2,658,892	2,543,320
繰延税金資産	632,680	633,961
その他	392,502	427,299
貸倒引当金	22,605	22,605
投資その他の資産合計	5,523,959	5,450,472
固定資産合計	21,094,409	21,731,631
資産合計	23,698,167	24,560,902

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	554,795	746,597
短期借入金	3,028,000	2,886,000
1年内返済予定の長期借入金	1,352,931	1,375,404
1年内償還予定の社債	248,000	255,000
未払費用	728,094	893,713
リース債務	67,255	68,062
未払法人税等	301,928	206,896
未払消費税等	107,948	87,982
株主優待引当金	62,408	67,520
店舗閉鎖損失引当金	31,192	-
資産除去債務	76,071	1,744
その他	828,837	971,094
流動負債合計	7,387,461	7,560,014
固定負債		
社債	520,000	590,000
長期借入金	3,144,295	3,689,549
長期未払金	421,664	419,751
リース債務	263,571	231,190
繰延税金負債	11,186	11,186
退職給付引当金	850,952	883,991
長期預り保証金	313,389	318,189
資産除去債務	941,805	992,063
その他	36,464	19,861
固定負債合計	6,503,329	7,155,783
負債合計	13,890,791	14,715,797
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,066,122	5,066,122
資本剰余金	4,427,356	4,427,356
利益剰余金	283,503	324,366
自己株式	10,927	11,096
株主資本合計	9,766,055	9,806,749
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42,882	42,802
為替換算調整勘定	1,561	4,446
その他の包括利益累計額合計	41,321	38,355
純資産合計	9,807,376	9,845,105
負債純資産合計	23,698,167	24,560,902

(2) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【 四半期連結損益計算書】

【 第 2 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 3月 1日 至 平成23年 8月31日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 3月 1日 至 平成24年 8月31日)
売上高	16,613,119	16,525,229
売上原価	5,631,939	5,631,368
売上総利益	10,981,180	10,893,860
その他の営業収入	710,531	728,101
営業総利益	11,691,711	11,621,962
販売費及び一般管理費	11,108,668	11,225,441
営業利益	583,043	396,520
営業外収益		
受取利息	5,550	4,509
受取配当金	5,308	4,637
その他	4,629	12,644
営業外収益合計	15,488	21,791
営業外費用		
支払利息	64,805	62,914
社債発行費	-	2,817
持分法による投資損失	2,774	6,203
その他	8,406	16,135
営業外費用合計	75,986	88,070
経常利益	522,546	330,241
特別利益		
店舗閉鎖損失引当金戻入額	13,617	-
収用補償金	20,737	121,502
特別利益合計	34,354	121,502
特別損失		
投資有価証券評価損	872	45,714
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	612,382	-
店舗閉鎖損失引当金繰入額	-	2,528
減損損失	2,782	11,121
災害による損失	58,789	-
固定資産除却損	13,344	82,480
本社移転費用	-	24,071
その他	8,380	984
特別損失合計	696,551	166,900
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	139,650	284,843
法人税等	115,756	133,690
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	255,407	151,153
四半期純利益又は四半期純損失()	255,407	151,153

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	255,407	151,153
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46,405	80
為替換算調整勘定	1,407	2,884
その他の包括利益合計	47,813	2,965
四半期包括利益	303,220	148,187
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	303,220	148,187
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	139,650	284,843
減価償却費	543,569	599,453
減損損失	2,782	11,121
株主優待引当金の増減額(は減少)	7,402	5,112
退職給付引当金の増減額(は減少)	55,448	33,039
店舗閉鎖損失引当金の増減額(は減少)	137,750	31,192
受取利息及び受取配当金	10,859	9,146
支払利息	64,805	62,914
投資有価証券評価損益(は益)	872	45,714
持分法による投資損益(は益)	2,774	6,203
有形固定資産除却損	13,344	82,480
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	612,382	-
売上債権の増減額(は増加)	51,263	96,243
たな卸資産の増減額(は増加)	127,850	56,348
仕入債務の増減額(は減少)	142,350	191,801
未払消費税等の増減額(は減少)	3,941	19,965
その他の流動資産の増減額(は増加)	275,436	205,386
その他の流動負債の増減額(は減少)	92,787	229,331
長期未払金の増減額(は減少)	337	1,912
預り保証金の増減額(は減少)	37,300	4,800
その他	100,147	165,211
小計	922,630	971,406
利息及び配当金の受取額	6,583	5,766
利息の支払額	61,987	62,603
法人税等の支払額	368,197	232,214
営業活動によるキャッシュ・フロー	499,028	682,355
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	-	10,000
有形固定資産の取得による支出	1,198,744	1,364,546
有形固定資産の売却による収入	50,151	225,221
投資有価証券の取得による支出	611	638
建設協力金等の支払による支出	112,888	207,844
建設協力金等の回収による収入	166,542	171,688
その他	6,973	26,426
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,102,524	1,192,546

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	250,000	142,000
長期借入れによる収入	2,200,000	1,430,000
長期借入金の返済による支出	1,746,372	862,273
社債の発行による収入	-	200,000
社債の償還による支出	123,000	123,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	28,935	33,429
自己株式の取得による支出	293	168
配当金の支払額	108,997	108,802
財務活動によるキャッシュ・フロー	442,401	360,326
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	2,352
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	161,094	152,216
現金及び現金同等物の期首残高	1,142,964	1,071,636
現金及び現金同等物の四半期末残高	981,870	919,419

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
税金費用の計算	税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

【追加情報】

	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)	
第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。	

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)												
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。												
<table> <tr> <td>給料手当</td> <td>4,976,705 千円</td> </tr> <tr> <td>賃借料</td> <td>2,107,546</td> </tr> <tr> <td>株主優待引当金繰入額</td> <td>36,772</td> </tr> </table>	給料手当	4,976,705 千円	賃借料	2,107,546	株主優待引当金繰入額	36,772	<table> <tr> <td>給料手当</td> <td>4,852,211 千円</td> </tr> <tr> <td>賃借料</td> <td>2,129,884</td> </tr> <tr> <td>株主優待引当金繰入額</td> <td>45,648</td> </tr> </table>	給料手当	4,852,211 千円	賃借料	2,129,884	株主優待引当金繰入額	45,648
給料手当	4,976,705 千円												
賃借料	2,107,546												
株主優待引当金繰入額	36,772												
給料手当	4,852,211 千円												
賃借料	2,129,884												
株主優待引当金繰入額	45,648												

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。
(平成23年8月31日現在)	(平成24年8月31日現在)
現金及び預金勘定 991,870 千円	現金及び預金勘定 919,419 千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金 10,000	預入期間が3ヶ月を超える定期預金 -
現金及び現金同等物 981,870	現金及び現金同等物 919,419

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年3月1日至平成23年8月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年5月25日 定時株主総会	普通株式	110,292	5	平成23年2月28日	平成23年5月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年10月11日 取締役会	普通株式	110,290	5	平成23年8月31日	平成23年11月17日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年8月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月24日 定時株主総会	普通株式	110,290	5	平成24年2月29日	平成24年5月25日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年10月10日 取締役会	普通株式	110,289	5	平成24年8月31日	平成24年11月15日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年3月1日至平成23年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	長崎 ちゃんぽん	とんかつ	和食	設備 メンテナンス	合計		
売上高(注)3							
外部顧客への売上高	12,822,374	4,114,973	97,465	288,837	17,323,651	-	17,323,651
セグメント間の内部 売上高又は振替高	59,722	-	-	871,364	931,087	931,087	-
計	12,882,097	4,114,973	97,465	1,160,202	18,254,739	931,087	17,323,651
セグメント利益又は損 失()	461,306	31,952	8,474	103,553	588,337	5,293	583,043

(注)1. セグメント利益又は損失()の調整額はセグメント間の取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 売上高にはその他の営業収入を含めております。

4. 第1四半期連結会計期間から、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号平成20年3月31日)を適用しております。

これに伴い、従来と同一の方法によった場合と比べ、セグメント利益又は損失()は「長崎ちゃんぽん」で24,725千円、「とんかつ」で2,450千円、「設備メンテナンス」で489千円それぞれ減少し、「調整額」が264千円増加しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	長崎 ちゃんぽん	とんかつ	和食	設備 メンテナンス	合計		
売上高(注)3							
外部顧客への売上高	12,663,104	4,208,342	94,330	287,552	17,253,330	-	17,253,330
セグメント間の内部 売上高又は振替高	80,707	24,374	-	771,072	876,154	876,154	-
計	12,743,812	4,232,717	94,330	1,058,624	18,129,485	876,154	17,253,330
セグメント利益又は損 失()	199,342	106,064	8,084	98,713	396,035	484	396,520

(注)1. セグメント利益又は損失()の調整額はセグメント間の取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 売上高にはその他の営業収入を含めております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額()	11円57銭	6円85銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (千円)	255,407	151,153
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額()(千円)	255,407	151,153
普通株式の期中平均株式数(千株)	22,058	22,058

- (注) 1. 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成24年10月10日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額.....110,289千円

(ロ) 1株当たりの金額.....5円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成24年11月15日

(注) 平成24年8月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年10月10日

株式会社リンガーハット
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 森 行一 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 堺 昌義 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社リンガーハットの平成24年3月1日から平成25年2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年6月1日から平成24年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年3月1日から平成24年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社リンガーハット及び連結子会社の平成24年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれておりません。